

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「持続可能な社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

新たな資源循環サイクルを可能とするものづくりプロセスの革新

3. 研究開発課題名

P イノベーション創出技術開発

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

長坂 徹也(東北大学大学院 工学研究科研究科 科長・教授)

5. 評価結果

本研究開発課題は、重要な戦略物質であるリンに着目し、コスト的に見合わなかった既存の方法を凌駕する、製鋼スラグからの黄リン回収手法の開発提案が高く評価され採択された。

探索研究期間においては、黄リンの回収量を増加させる工夫などを行い本手法の可能性を高める成果を上げたと評価する。他方、探索研究期間で目標にしていた反応過程の定量化や、当初ボトルネックとして想定していなかった新たな課題(鉄鋼スラグから粗リン酸の回収法)に対して、基礎的な研究の進展が求められる。企業との共同研究等から、全体を通したプロセスの実証に向けた展開を期待したい。

以上